



Rinnai

経営の方向性

2013年5月10日

中期経営計画の推進

2012～2014年 中期経営計画「ジャンプUP2014」

目指す姿

総合熱エネルギー機器メーカーとして 世界の人々の暮らしと地球環境に貢献

- ▶ 商品ビジョン：地球環境に貢献する総合熱エネルギー機器メーカー
- ▶ 地域ビジョン：世界の人々の暮らしの向上に貢献するグローバル企業
- ▶ 機能ビジョン：独自のビジネスモデルが人やパートナーを惹きつける企業

3つのジャンプUP

- 1 ゼロディフェクトの追求で **品質レベルUP**
- 2 開発・生産・販売のプロセス革新で **機動力UP**
- 3 人づくりとグループ連携で **組織力UP**

経営指標

売上高	2,800億円
営業利益	330億円
営業利益率	11.8%

中期経営計画 数値目標

《 連結 》

[単位：億円]

		実績	中期経営計画「ジャンプUP2014」			
			11年度	12年度 計画	12年度 実績	13年度 目標
売上高		2,466	2,570	2,518	2,680	2,800
売上高内訳	国内	1,682	1,720	1,729	1,760	1,800
	海外	784	850	789	920	1,000
営業利益		266	280	263	300	330
営業利益率		10.8%	10.9%	10.5%	11.2%	11.8%

中長期の成長路線を描き、次世代へジャンプUP

リンナイの総合熱エネルギー機器戦略

ガス機器

<生産国>
日本・アジア・オセアニアなど



電気機器

<生産国>
ニュージーランド
ASEAN諸国
中国
韓国
日本（レンジフード・食洗機）



ソーラー機器

<生産国>
オーストラリア
ブラジル



ハイブリッド機器

<生産国>
オーストラリア（ソーラー+ガス）
ブラジル（ソーラー+ガス）
日本（ヒートポンプ+ガス）

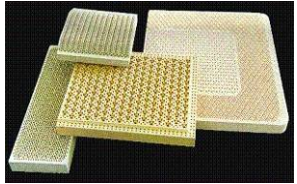
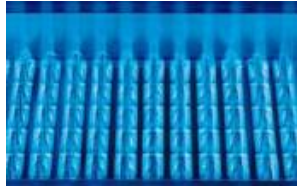


各国のエネルギー事情に合わせた熱機器を提供（世界80カ国）

品質こそ我が命 - 品質・安全へのこだわり

4

熱に関わるコア技術の自社開発



バーナー



熱交換器



電子ユニット



ガスバルブ

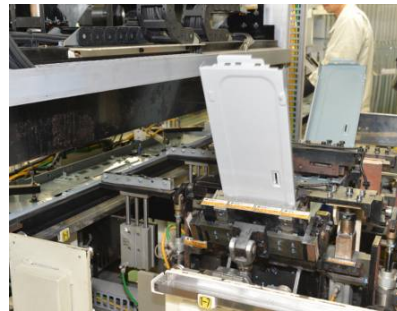


水バルブ

重要ユニット・部品の内製化 - 加工から組立までの一貫生産



プレス加工



板金加工



切削加工



組立ライン

重要部品は自社で生産し、ゼロディフェクトを追求

Rinnai

ECO ONE は省エネNo. 1¹の給湯器

世界初²の「電気×ガス」ハイブリッド技術による給湯器で効率的に低炭素化を実現



■ 省エネ基準に基づく給湯一次エネルギー消費量比較 (GJ)

省エネ基準 新地域区分	代表的な都市	ヒートポンプガス瞬間式 併用型給湯器 【ハイブリッド給湯器】 (100Lタイプ)		電気ヒートポンプ給湯器 【エコキュート】 (JIS3.3)		潜熱回収ガス給湯器 【エコジョーズ】 (JIS90.5%)		基準となる 給湯器
		消費量 (GJ)	削減率	消費量 (GJ)	削減率	消費量 (GJ)	削減率	
3地域	盛岡市 軽井沢町	20.1	30%	24.2	16%	26.7	7%	28.7
4地域	仙台市 長野市	19.1	31%	23.0	17%	25.9	7%	27.8
5地域	新潟市 さいたま市	17.5	37%	21.2	24%	24.4	12%	27.9
6地域	東京23区 名古屋・大阪市	15.2	40%	17.9	29%	22.1	13%	25.2
7地域	高知市 鹿児島市	13.4	41%	15.4	32%	20.0	12%	22.8

1 2013年2月現在 シングルハイブリッドシリーズ100Lタイプ(タンクユニットにRTU-R1000を採用するシステム)住宅・住戸の省エネルギー性能の判定プログラム(独立行政法人建築研究所 協力 国土交通省国土技術政策総合研究所)に基づく給湯一次エネルギー消費量の算定結果

2 2012年4月23日発売ヒートポンプと高効率給湯器を組み合わせた家庭用給湯暖房システムの場合

- ・上記数値は住宅・住戸の省エネルギー性能の判定プログラム(独立行政法人建築研究所 協力 国土交通省国土技術政策総合研究所)より
- ・延床面積：120㎡
- ・基準となる給湯器は、3～4地域：石油給湯器(JIS効率81.3%)
5～7地域：ガス給湯器(JIS効率78.2%)
- ・削減率は基準となる給湯器に対する割合

「ECO ONE」は低炭素建築物の認定基準において、
給湯省エネ基準より **約30～40%** の一次エネルギー消費量を削減

低炭素建築物の認定によるメリット

- ・住宅ローン減税の最大控除額アップ
- ・「フラット35S」の利用(長期固定金利住宅ローンの金利を一定期間引き下げ)

コストと快適性

朝

昼

夜

ECO ONE

日中の電気料金でもお得、朝や夜に家事が集中せず楽々



雨の日でも
浴室で衣類乾燥



湯切れもなく
お湯たっぷり



床暖房使用も
余裕・パワフル

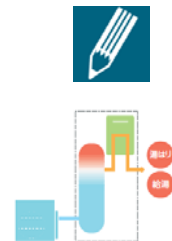
太陽光発電とECO ONE

を組み合わせると
日中の電力使用が少ないため
売電量が増えてお得



学習機能

過去のお湯の使用状況を学習し
各家庭の生活スタイルに合わせ
効率良くお湯をつくる



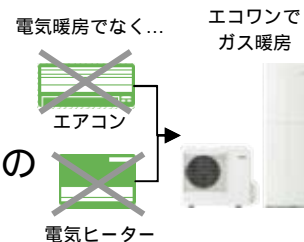
コンパクトで設置バリエーションが多彩

機器がコンパクトで、さらに
設置スペースに合わせた組合せが可能
(塩害地域でもマンションでも設置可能)



節電に貢献

電気の苦手な部分は
ガスで補い、エネルギーの
有効活用と節電に貢献



快適な温水式暖房システム

1台の熱源機で、給湯から暖房まで
快適な暮らしを実現するハイブリッド給湯・暖房システム



浴室暖房乾燥機



ファンコンベクタ



パネルヒータ



床暖房

ECO ONE



熱源機



将来は家庭用ネットワークへ
(HEMS)

【ハイブリッド給湯・暖房システム】

打たせ湯 ミストサウナ

美白湯

美白湯

エコジョーズ商品ラインアップ完成

8

エコジョーズのフルラインアップ化で
環境貢献商品の普及・拡大を促進します！

給湯暖房機



コンパクト型
給湯暖房機



ふろ給湯器



ふろ給湯器
スリムタイプ



給湯単能機



給湯単能機
スリムタイプ



給湯単能機
据置タイプ



給湯単能機
屋内FFタイプ
(屋内設置/強制給排気方式)



ビルトインコンロとレンジフード

ビルトインコンロ



DELICIA DELICIA GRILLER Udea ユーディア Udea ef ユーディアエフ Verie SAFULL セイフル

システムキッチン化が進み、ビルトイン市場は今後も拡大

レンジフード



ビルトインコンロとの連動機能が評価され、販売伸長

料理をサポートするキッチン商品

ガス炊飯器

2012年10月発売

直火匠
たかぎのたくみ



ガスの直火・強火力による
「かまど炊き」のおいしさを追求

キッチンに
ガス栓がなくても

ガスコンロの「炊飯機能」



炊飯機能

テーブルコンロ

2013年4月発売



好評だった「HOWARO」シリーズの
「白いコンロ」「シンプル」にこだわりながら
機能性を高めたインターネット限定商品

オリジナルホーローなべ

2013年5月発売



いま人気の無水ホーローなべ「バーミキュラ」
とリンナイが共同開発したオリジナル商品
(数量限定でインターネット販売)

ガスのパワーでふっくら・やさしく衣類乾燥

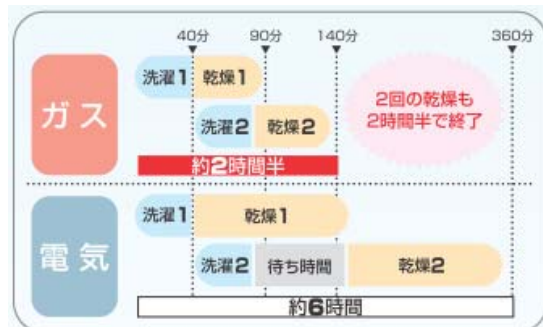


- ・ 雨の日や梅雨時でもふっくら乾燥
- ・ 夜だって、静かにスピーディに乾燥
- ・ 花粉の季節も快適乾燥

ガス衣類乾燥機の特長

- ・ 乾燥時間は電気式の約半分

- ・ ガスの熱風乾燥で
やさしくふっくら



衣類5.0kg、ガス衣類乾燥機 RDT-51SAの場合



衣類乾燥機で
乾燥したタオル



外干しで乾燥した
タオル

新製品
近日発売予定

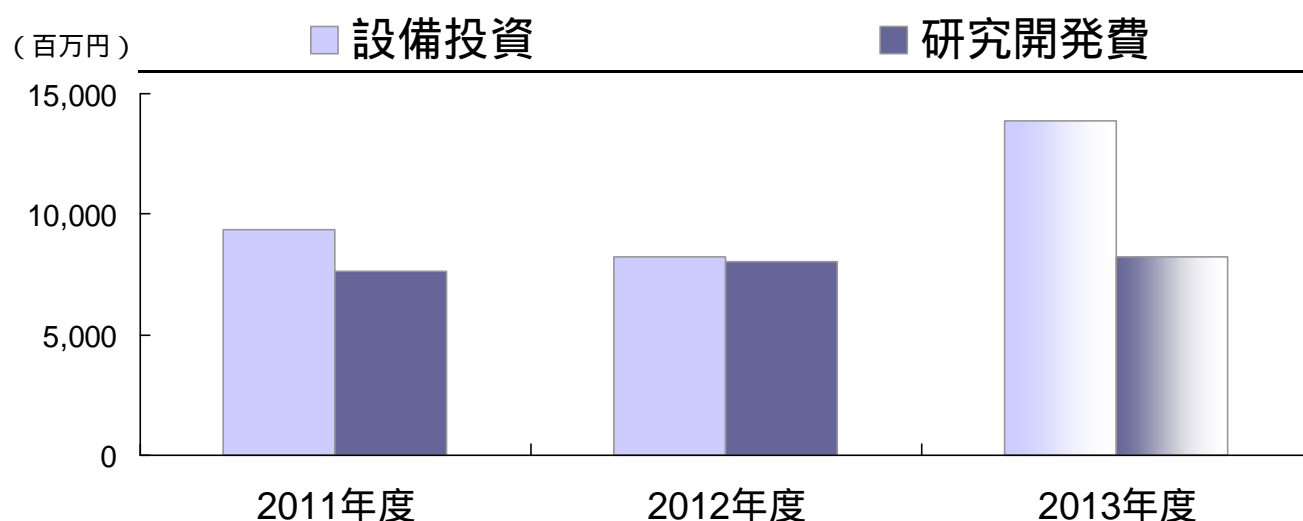
新たにプラズマクラスター技術を搭載

(静電気低減効果)



プラズマクラスターロゴおよび
プラズマクラスター、Plasmaclusterは
シャープ株式会社の登録商標です。

Rinnai



投資の狙い

国内

- ・ **生産体制の再構築** (時代の流れに素早く対応できる大規模な生産体制の改革)
- ・ **ハイブリッド給湯器、給湯暖房機など長期成長機種に対する生産能力強化**
- ・ **新製品の要素開発・重点商品コスト造り込み** (ビルトイン新製品・エコジョーズコスト改革等)
- ・ **営業拠点、サービス体制の強化・充実** (関東・関西・北海道等)

海外

- ・ **新興国の熱機器需要拡大に伴った生産工場の増強** (中国・タイ等)
- ・ **新製品投入に向けた金型設備、生産合理化設備** (韓国コンロセンサー化等)

今後の需要増加が見込める高効率ガス給湯器「エコジョーズ」やハイブリッド給湯・暖房システム「ECO ONE（エコワン）」、温水暖房システム端末商品、ビルトインコンロなどの生産体制の集約化を進め、生産能力拡大と生産効率の向上を目指す



暁工場の稼動

- ・「瀬戸暁工場」を「暁工場」へ名称変更
- ・浴室乾燥暖房機の生産を移管（2013年5月～）
- ・エコジョーズの要素部品やハイブリッド給湯・暖房システムの段階的拡大



愛知工場の製品生産移管と部品センターの移転

- ・厨房機器の生産を大口工場へ順次移管（製品生産を終了）
- ・補要部品の保管・出荷機能を担う部品センターの移管
- ・「リンナイパーツセンター」へ名称変更（2013年7月～）

熱と暮らしを創造する

Rinnai

本資料に掲載されております業績予想や将来予想は、現時点において入手可能な情報に基づき当社が判断して予想したものであり、実際の業績は今後様々な要因の変化により予想とは異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。